

■ 為永春水 戯作者。「春色梅児誉美」が熱狂的歓迎、人情本で一世を風靡するも、<天保の改革>で処罰され、憤死。

ためながしゅんすい

異学の禁・ ・ 1790 = 生。江戸の町家の出身らしいが、

前半生の経歴は明らかでない。

松平定信引退 1793 = 3歳：

蝦夷地直轄始 1799 = 9歳：

フェート号事件 1808 = 18歳：

杉田玄白没・ 1817 = 27歳：この頃から_書肆{青林堂}を経営するかたわら、振鷺亭、柳亭種彦、式亭三馬に入門。

水野忠成老中 1818 = 28歳：

群書類従完結 1819 = 29歳：*処女作の人情本「明烏後正夢」初編を発表。

次々に作品を世に送るが、この時期の作品のほとんどは友人、門人たちとの合作であり、戯作者志望の文学青年や狂言作者の草稿を、書肆の立場を利用して出版したものである。

・ ・ ・ ・ ・ 1826 = 36歳：

日本外史・ ・ 1827 = 37歳：この頃には_人情本作者としての地位を確立。

シ-ギ 卜事件・ 1828 = 38歳：

シ-ギ 卜追放・ 1829 = 39歳：_それまでの号を捨てて為永春水を名のるが、火災で{青林堂}を失い、門人、友人たちの多くが離反、

鼠小僧磔・ ・ 1832 = 42歳：*苦心のすえ、情痴的恋愛小説「春色梅児誉美」初・後編を発表した。この作品は若い婦女子の読者から熱狂的歓迎を受け、春水は一躍文壇の第一線に登場し、自ら"江戸人情本の元祖"を名のった。読者の好評もあって、書肆の依頼で次々にこの作品の続編を執筆することになり、

滑稽+人情本 1835 = 45歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1836 = 46歳：ほかに*「春告鳥」以下の多数の作品を発表する。

大塩平八郎乱 1837 = 47歳：

当然全作品を独力で完成することは難しく、以後の作品の大部分は、"為永連"と称する春水と新しい門人たちの制作であった。文字どおり_人情本の第一人者として、短い期間ながら流行作家の位置についたが、

天保改革始・ 1841 = 51歳：*天保改革に際し、その作品が風俗に害があるとの理由で処罰され、

順天堂始・ ・ 1843 = 53歳：_憂悶のうちに没した。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、「江戸・東京を造った人々」、日本の古典名著、